

まちの話題 TOWN TOPICS

ようこそ、にほんまつへ!

～ふくしまデスティネーションキャンペーンが始まりました～

3月29日、二本松市市民交流センターで「にほんまつ・魅力発信・フェスティバル2015」が開催され、今年1月に結成された二本松観光PR隊「二本松少年隊」が、初めて市民の皆さんにお披露目されました。会場では、先着300人に郷土料理「ざくざく」が振る舞われ、ふくしまデスティネーションキャンペーンのオープニングを華々しく飾りました。



◀▲力強いパフォーマンスを披露した少年隊



▲子どもにも大人気の「ざくざく」

安達ヶ原ふるさと村を花の里に

～マンジュシャゲを地域住民の手で植樹～

3月29日、安達ヶ原ふるさと村を花の里にしようと「安達ヶ原ふるさと村の景観を良くする会」の主催で、地元の住民・消防団員、仮設住宅に住む浪江町の避難者の皆さんにもお手伝いいただき、マンジュシャゲ(彼岸花)の苗23,000株が植えられました。

秋に咲く鮮やかな赤い花を楽しみに、移植ペラなどで一株ずつ丁寧に植えていました。



▲マンジュシャゲの苗

◀協力いただいた地域住民の皆さん

齋藤ミヨさん・二瓶清子さん

～めでたく満100歳～

この世に生を受けて一世紀、3月23日に齋藤ミヨさん(油井)、3月30日に二瓶清子さん(木幡)がめでたく満100歳を迎えられました。二本松市から賀寿、同じく福島県から賀寿と木杯が贈られました。

お二人の長寿の秘訣について、齋藤さんは「好き嫌いなく何でも食べること、ストレスをためないこと」、二瓶さんは「時間をかけてゆっくり食べること。子どもや孫たちの成長を見守りながら自由に生活すること」だそうです。お二人の益々のご長寿をお祈りします。



▼二瓶清子さん



▲齋藤ミヨさん

寒ざらしそばを求め賑わう ～いわしろ高原寒ざらしそばまつり～

3月29日、道の駅さくらの郷で、いわしろ高原寒ざらしそばまつりが開催されました。昨年秋に地元で収穫されたソバの実を真冬の清流に浸し、寒風で乾燥させて作ったそば粉。この地元産100%のそば粉を使い、手打ちで作ったそば限定1,000食が準備され、多くの家族連れや観光客が行列をつくりました。晴天にも恵まれ、買い求めた観光客らは春の穏やかな陽気の中、寒ざらしそばの味を楽しんでいました。

▼打ち立てのそばはおいしいね！



▲天ぶらも揚げたて



6人の職人が手打ちで準備▶

希望でいっぱいの新一年生が誕生 ～市内小学校・中学校で入学式～

4月6日、市内の小学校・中学校で入学式が行われました。今年は小学校16校で計409人の児童が、中学校7校で計518人の生徒が入学し、先生や上級生に温かく迎えられました。

小学校入学式では、新入児童は少し緊張した様子で入場していましたが、担任の先生から名前を呼ばれると大きな声で「はい」と返事をしていました。



▲油井小学校



▲二本松南小学校

城下町に春を告げる桜まつり ～霞ヶ城公園ライトアップ点灯式～

4月10日に霞ヶ城公園で「ライトアップ点灯式」が行われました。点灯式には、二本松の菊人形マスコットキャラクター菊松くんが登場し、点灯式を盛り上げてくれました。

霞ヶ城公園内に設置された、ぼんぼりやちょうちんに明かりが灯され、霞ヶ城公園内は幻想的な夜桜が浮かび上がりました。

霞ヶ城公園内は日中も多くの観光客で賑わい、人々は城下町の春を楽しんでいる様子でした。

